やまねこ翻訳クラブとは

やまねこ翻訳クラブは、児童書と翻訳に興味がある人たちが集まって作ったネット上のコミュニティです。はじめは会員のほとんどが、翻訳書を出したことのない学習者でしたが、20 年たった今では、翻訳者が 40 名以上在籍する集団になりました。出版社を立ち上げた会員もいます。会員は日本のみならず海外にもいて、全部でおよそ 100 名。ホームページ、掲示板、メールマガジンなどを通じて、勉強会や、情報交換、情報発信にいそしみ、たのしく交流をつづけています。

Yamaneko
Honyaku Club
20th anniversary

やまねこ翻訳クラブ
since 1997
オフィシャルサイト http://www.yamaneko.org/
20周年特設サイト https://yamaneko20.jimdo.com/
Twitter https://twitter.com/yamanekohonyaku

クラブの歩み

1997 年	10 月	やまねこ翻訳クラブ発足
	12 月	第 1 回シノプシス勉強会
1998 年	4 月	やまねこ翻訳クラブ HP オープン
	8 月	メーリングリスト「月刊児童文学翻訳」創刊
	9 月	第 1 回総本翻訳コンテスト事後勉強会
	12 月	第 1 回やまねこ賞発表
2001 年	11 月	中村悦子・中釜浩一郎原画展開催
2002 年	10 月	活動場所が現在の WEB 掲示板に移動
2005 年	9 月	第 1 回レビュー勉強会
2006 年	11 月	『大人のファンタジー読本 未知なる扉をひらく 180 選』出版
2007 年	10 月	やまねこ翻訳クラブ創立 10 周年
		10 周年記念世界の文学賞ラリー、総本翻訳コンテスト開催
2008 年	5 月	「月刊児童文学翻訳」100 号発行
2013 年	7 月	第 1 回オフラインお読書会（東京）
2014 年	5 月	小竹由美子さん、キャシー平野さんを囲んで高松でお読書会
2017 年	10 月	やまねこ翻訳クラブ創立 20 周年
	9 月～翌年	各地書店で 20 周年記念フェアフェア、トークイベント

やまねこ　ミニトーク　その３

●コンテストの後には勉強会！

　翻訳家デビューを目指す会員は、コンテストにも積極的です。なかでも「いたばし国際絵本翻訳大賞」は年に一度の大イベント。課題を訳し、ポストに投函して一安心……と思いきや、事後勉強会を開く私たちって、なんて勉強熱心なのでしょう！　オンライン掲示板には十人十色の訳文がずらり。互いにコメントを付け合い、さらなる推敲を重ねます。さて、その成果は？　大賞を含め、多数の入賞者が当クラブから出ているってこと、自慢してもいいですよね。

（by キジトラ）

●膨大なデータを誇る「資料室」

　当クラブのサイトには「資料室」と呼ばれるページがあります。内容は、海外の児童文学賞の受賞作リスト、作家・画家の作品リストなど、この 20 年のあいだに蓄積された膨大なデータ！　アメリカのニューベリー賞やイギリスのカーネギー賞について調べていたら、いつのまにかやまねこの資料室に……なんて経験、みなさんもありませんか？　ボランティアのスタッフがこつこつと更新しているリストの数々は、会員以外の翻訳者や編集者にも活用されています。

（by ベス）

●オフ会も開かれます

　遠くに住む会員が来訪したとき、原画展や講演会などで複数の会員が集まるとき、やまねこでは、ネットから離れて実際に顔を合わせるオフラインの会が開かれます。近況報告や家族の話に花を咲かせるふつうの食事会ですが、本の話題や自分のたずさわった翻訳の裏話もたっぷり。ときには 10 年以上もオンラインで親しく言葉を交わしている会員同士が「初めまして」と名刺交換しているのを見て「ええっ？」と驚くことも。初対面でも初めての気がしない。それがやまねこオフです。

（by BUN）

●読み手、語り手もいます！

　関東在住の会員有志が集まって、1999 年から読み聞かせのグループを作っています。最初は絵本の翻訳勉強会だったのが、読み聞かせをする集団「おはなしこねこの会」に！　かれこれ 15 年以上、ジュンク堂書店池袋店などで定期的におはなし会を行っています。ほかにも、やまねこには読み手、語り手が多数。翻訳作業やひとり読書とは違う魅力にとりつかれた、物語を愛する面々です。もしかしたら、どこかのおはなし会で会える、かも!?

（by キャトル）